

岐大通
2011



東日本大震災で被災された方々にお見舞い申し上げます。
We'll never walk alone.

前途多難な1年の予感...。岐阜0-1大分【第0節】

today's guest

水戸ホーリーホック

2010 J2第16位
J2通算対戦成績 :5勝2分1敗

- 2010成績
第1節 10/05/22 岐阜1-0水戸
第2節 10/08/15 水戸1-2岐阜
2009成績
第0節 09/04/11 水戸3-3岐阜
第1節 09/06/03 岐阜1-1水戸
第4節 09/09/19 岐阜3-1水戸

2010J2

順位表 第0節 変別

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から視点)

1	千葉	06p	+6	6	0
	湘南	06p	+6	6	0
3	栃木	06p	+3	5	2
4	愛媛	06p	+3	4	1
5	水戸	06p	+2	4	2
6	熊本	06p	+2	3	1 A
7	鳥栖	03p	+1	3	2
8	鳥取	03p	+1	2	1
9	草津	03p	0	3	3
	京都	03p	0	3	3
11	徳島	03p	0	2	2
	大分	03p	0	2	2 H
13	富山	03p	-1	3	4
14	FC東京	03p	-2	1	3
15	東京V	00p	-2	1	3
	岐阜	00p	-2	1	3
17	横浜FC	00p	-3	2	5
18	札幌	00p	-3	0	3
19	北九州	00p	-5	0	5
20	岡山	00p	-6	1	7

次回 HomeGame

第1節
東京ヴェルディ戦

5/8(日) 19:00
@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

FC岐阜大好き通信(岐大通)

4/30号
編集発行:『岐大通』製作委員会
今号の製作担当: ささたく & 吉田 鑄造

編集子より
ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンも「全ホームゲーム」での
発行を目標にしますので、よろしくお
願い致します。

FC岐阜は長良川で大分と対戦し0対1で敗戦。いいサッカーは見せられたものの勝てなくて。次こそ勝利を。FC岐阜頑張れ!
(ハマツチ)

心配された雨もなく、好天に恵まれたメモリア春はまだ遠いところにあるような.....、そんなことを感じた開幕戦。シュートは、12本だったかな?そこそこ撃ってたこともあってか、試合は楽しかったという意見も見聞きした。ただ、やっぱり、先取点は大事だなあと。今年の岐阜は特に、リードされたら、大作戦になっちゃうのかな?たった一試合で木村監督のサッカーがわかるほど玄人じゃない。それでも、「個性を生かした」「能力を最大限に引き出した」サッカーが、新監督のめざすサッカーだと聞いたのだけれど、それが放り込み大作戦だと少し残念。今季も厳しい試合が続くよな、とっていたけど、もう少し下方修正とききます。

録画を見直して思ったのは、ツインタワー大作戦は、現地で感じたよりも迫力割り引きかな?ということ。それにしても、交替枠余らせたのはもったいないような気がする。1対1ならともかく、向こうは10人で森島のワントップなんだし、DF2人に任せちゃって川島も入れての大作戦なら、もっと盛り上がっただろうに。いずれにしても、押谷は消えてしましますが。とはいえ、監督も選手も手応えはあるみたい。しかし、こういうサッカーをするんなら、シーズン通して走り抜くコンディションを作っていく必要があるだろう。なにしろ、目標が目標だから。そして、このサッカーを続けていくんなら、早めに結果があるんじゃないか?体力の前に気力が切れちゃいそうで、それが心配。今は、正吾も染矢もキレているから出来るけど、このままずっと.....とはいかないよね?特に、洗一なんかは爆分屋というが理論よりフィリングだから(爆)、カラダが動いてるうちに点取らないと気持ちが悪えちゃうんじゃないか、と心配で心配で。だからこそ、次はもっと後押ししていかなくちゃね、と思った次第。

それから。ちょっと、ビックリした終了後の挨拶。なんで来なかったのかは聞いたけど、負けた後だからタイミング悪すぎ。スパイクなんか陸上選手も履くだろ~。そりゃ、サッカーのスパイクとは形状が違うけどさ。ちょっと、ナイーブ過ぎないかなあ?

「マツって、いくらぐらいするんだろ?」と調べてみたりもしたけれど、そんなことはクラブも当然考えているみたい.....、という話を小耳にはさんだ。やっぱり、選手と観客の距離の近さが岐阜のイイとこだと思うから、勝った時はもちろん、そうでない時でもできるだけ近くで見たいと思う。いろんな意味で今度の長良川、水戸戦が楽しんだ。(ぐん、)

待望の開幕戦は期待と不安を感じさせる内容だった。

倉田前監督は戦術的な枠組の中で選手各々に明確な役割を与え、その遂行を要求する「選手に仕事を与える」監督であったと僕は認識している。それとは逆に、木村新監督は選手各々の即興性を大事にしていくと発言していたことから「選手に仕事を見出させる」監督なのだろうと感じていた。そして両監督の「違い」は良い意味でも悪い意味でもピッチ上に明確に表われていたと思う。

良い部分はオフenseの局面において、選手達が伸び伸びとやれていたように感じられたこと。縦への展開スピードも速く、シンプルにシュートで終わっていたことは良い面だったと思う。ただ、そこには悪い部分も同時に感じられた。それは選手個々のその場その場での「即興」でアタックが完結し過ぎているという点だ。ボールホルダーの意思と周りの選手の意思にチグハグな部分が多々見られ、連動して相手を崩す場面は少なかったように思う。結果的には良くも悪くも「個」で完結していた岐阜の攻撃を「チーム」としてしっかり守備し続けた大分の守り勝ちであった。

この結果について選手個人個人が考え、練習で各々の意思の刷り合せを行い、ピッチ上に反映させていくこと。それが今季の我々のチームには必須であると感じたゲームだった。個人の自由が尊重されると同時に責任も大きくなるというのは何もサッカーに限った話ではない。選手一人一人には今まで以上の「思考」と「自律」が求められるだろう。そんな環境の中で、選手個人個人がどのように成長し、チームにそれがどのように反映されていくのか。その過程を暖かく見守りたいと僕は思っている。(マツヒラ)

試合後の会見で木村監督が「大分の田坂監督が『アウェーで迎える開幕戦は1-0で勝って帰りたい』とおっしゃっていたので...」と応えたんじゃないか?なんて思ってしまったではないか(苦笑)。実に見事な「おもてなし」サッカー。相手に合わせる「接待サッカー」より高いレベルだ(苦笑)。

実質的な指揮を執ってまだ時間がないから仕方ないのはわかるけど、選手交代とそれに伴うポジションチェンジには、ちょっと...ね。先制された際に打った手が永芳アウトで西川インのバクチだったのは驚いたけど、ブルルの1ボランチで保たないんで正吾を中盤の底に下げて、それで岐阜の右は終わってしまった。

それでも、大分にしたらFが退場になってミッションが明確になった、しかもそれが「それまでのやり方(きっちりブロック作って守る)を徹底させれば良い」となった時にまったく動かないというのは、観ている側としては面白いようにストレスが溜まっていく(苦笑)。

最後はドカンドカンドだったから、帰りがけのカップルも「でも最後は盛り上がったよね~」となる。でも、交代枠が残っていて、ドカンドカンの大作戦の際に有効と思われる選手がベンチにいて、なぜ動かなかったのだろう。

「観ていて楽しいサッカー」になるまでに、どれだけ時間がかかるんだろ。その前に、いつぐらいになったら「勝てるサッカー」になるんだろ。こりゃあ今年も相当の覚悟が要るかもしれない...と思った開幕戦だった。(吉田 鑄造)

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は



JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休:日曜日(今日は営業しています)

後半はよくなる、のは見慣れているが...。 熊本2-1岐阜【第08節】

FC岐阜はアウェイで熊本と対戦し1対2で敗戦。前半で2失点は厳しい。次こそ勝利を。FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

中断期間中の練習試合を見て、「こんなんで大丈夫か」と思いましたが、その不安が的中した試合内容でした。序盤早々の失点に点を取れない攻撃陣、と「何の準備をしてきたんだよ！」と言いたくなります。

これで尻に火が付いてくれればいいのですが、「次に繋がる云々...」という言葉より結果で見せつけてみる、と思います。（ブラウ）

試合の翌日に録画で見直してみると、現地を見た記憶と印象が違うのに驚くことがある。モニターを介して見るのはズイブンとフィルターがかかるともんなんだな、と思わず笑ってしまうが、もしかすると自分が現地では見ているようで、実は何にも見ていなかったということかもしれない。逆にそうであつたらいいんだけどな。

とにかく、前半30分くらいまではやりたい放題にやられて2失点。とはいえ、1点目はもう信じられないようなミスからなんでどうしようもない。そして、実際のところ「ヤラれた」というよりは「ヤラせてしまった」という方が正しい表現。それほど、ウチの攻撃も守備もあやふやで曖昧。どうやって攻めるのか、どうやって守るのが、決め事もないような状態だった。特に、ダブルボランチの卓と永芳の関係が微妙で2トップとは遠すぎるし、かといってCBの前のスペースを埋めるワケでもないため、熊本の27番にバイタルエリアから両サイド深くまで荒らされまくってしまった。両CBも9番の高さにことごとくボールをキープされ、オマケに足も使われたら、そりゃスピードのある30番にかき回されるよな、という感想。クロスバーに助けられたのは両方ともだが、3点目が決められてたら前半で雌雄は決していたような気がする。

それが、後半と同時に川島を投入。卓を前に上げたら、中盤の底の人数が減ったにもかかわらず（卓、永芳、川島）守備が安定し攻撃がスムーズになってきた。さらに阪本を入れてからは洗一にもキレが出てきたのが不思議だった。もっとも、阪本からの絶好の折り返しをふかしたり、DFより肩から上が出てるヘッドを粹へ飛ばせなかったのはただけじゃない。ああいうのを決めてくれないと勝利は覚束ないし、一昨年のような得点数を挙げるのも困難だ。大分戦も千載一遇のチャンスを決め切れなかったし、たぶん気分屋の洗一自身のためにも一刻も早く得点シーンが見たいもんです。

それでも、川島は得点も含めて結果を出してくれたし、阪本もいいアクセントを付けてくれた。染矢は相変わらず調子が良さそう。交替選手が結果を出したということは、監督の采配が当たったということだし、あとはキックオフから全員が意識を統一して戦ってほしい。熊本戦で後半よくなったのは、相手の疲れもあっただろうが「それぞれの役割分担」がしっかりしたからだとも言える。これは、現地へ赴いた仲間の言葉だけれど、実に言い得て妙だ。11人の中で自分の果たす役割、そして自分の特徴を生かすためにはどうするか、どうしてほしいか、を改めて確認しあって試合に臨んでほしい。焦るつもりも急かすつもりもないけれど、やっぱり「万歳四唱」は楽しみだよな（笑）。選手の皆さん、そこそこヨロシクお願いします！（ぐん、）

【ユース】今年も2次トーナメント進出を目指せ！

我らがFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）は現在「日本クラブユース（U-18）サッカー選手権東海大会」を戦っています。この大会はまず5チームによる1次予選リーグを行い、2次トーナメントに進出する上位3チームを決定。続いてシードされているジュビロ磐田・清水エスパルス・名古屋グランパスの各ユースチームと1次予選リーグを勝ち抜いた3チームの合計6チームによるトーナメント形式の2次予選を戦い、上位2チームが全国大会に出場出来ます。昨年の同大会ではFC岐阜ユースは2次トーナメントに進出したので、今年も期待しています！

さて、FC岐阜ユースは4月24日（日）に静岡のHonda FCのユースチームと対戦しました。結果は1対2の敗戦との事。うーん、残念無念。この後、GW中には5月1日（日）13時半から浜松市で尾張クラブと、5月5日（木）13時半から名古屋市港区でERD Eとの対戦が予定されています。是非勝ってもらって、今年も是非勝ち上がって貰いましょう！FORZA！FC岐阜ユース！！

（シュナ）

サッカーは前後半のトータル90分で闘うものだし、前半と後半でチームの勢いが変わるのはよくあること。しかし、ここまで毎回毎回「前半と後半が違うチーム」だと...（苦笑）。

開幕戦の大分戦もそうだったし、リーグ中断期間に観戦した練習試合の松本戦や富山戦でもそうだったのだが、今節も前半の入り方が本当に酷かった。攻撃や守備に対する選手たちの「意図」が感じられなかったのは僕だけだろうか？なんでこうなるんだろう...とTVで観察していて、とりあえず感じたのは「選手達は次のプレーを予想していない（できていない）のではないか？」ということ。

例えば攻撃では、ボールを貰ってから周りを見て、受け手が「今いる」位置に出している（=スペースに出していない）から、受け手はボールを立ち止まって待つ。だから攻撃のスピードは遅くなるし、敵に奪われやすくなる。守備でも、相手や味方がどう動くか想像していないから、セカンドボールを拾えなかったり、敵のマークを外してしまったり。端的には、「試合に集中して頭を使うことをしていない」とも言えるのだけど（苦笑）。あとはピッチにいる選手の声（コーチング）が少ないような気もした。練習試合では声援がないためか、2試合とも前半はとて静かだった...あれでは選手間の意思の疎通が難しいのではと感じてしまう。

そんなグダグダな状況で、前半16分までに2失点して、終始熊本ペースの前半。背の高いFWに、田中・野垣内のCBコンビでは正直厳しいと思ったし、3点目も危ないなと思ったが、なんとか2失点で前半終了。シュートは僅か1本。

...で、後半になると、今節も「別のチーム」でした（苦笑）。ハーフタイムでの木村監督の修正能力が凄いのか、あるいは選手達が前半たるみ過ぎなのか...お願いですから前半からそんな試合してください（切実）。岐阜に勢いが戻り、何度もチャンスが生まれる。後半20分には交替出場の川島がCKから見事なヘッドで1点返し、さあ...！と勢いついたのだけど、決定力の無さというか、決めるべき1本を決められずに試合終了。実に勿体ない敗戦だった。

さて、今節の対戦相手は被災しながらも2連勝中の水戸。連勝の勢いと勝利への執念をもって乗り込んでくるだろう。厳しい試合になるのは間違いないが、だからといって3回も同じ過ちを繰り返しては問題外だ。90分間闘い抜いて、今季のホーム初勝利を！（ささたく）

【お詫びと訂正】

開幕戦号に掲載した「201東海リーグ1部参加チーム」に誤りがありました。正しくは

Shizuoka 藤枝MFCC（静岡）

FC刈谷（愛知）

マルヤス工業（愛知）

FC鈴鹿ランポレ（三重） 監督は高木成太（元・FC岐阜）

藤枝市役所（静岡）

矢崎バレンテ（静岡）

FC岐阜セカンド（岐阜・東海リーグ2部より昇格）

トヨタ蹴球団（愛知・東海リーグ2部より昇格）

です。お詫びして訂正致します。（吉田铸造）

ALADDIN

何も無い店だけど...
心の花が咲く...
何も無い店だけど...
心癒される...
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honj-woodream.com/>